



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハイマックス

コード番号 4299 URL <https://www.himacs.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 太

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 岡田 喜久男 TEL 045-201-6655

四半期報告書提出予定日 2021年8月7日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,777	3.0	288	40.8	290	41.0	195	41.4
2020年3月期第1四半期	3,666	9.0	205	17.5	206	16.7	138	15.9

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 185百万円 (40.4%) 2020年3月期第1四半期 132百万円 (4.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	40.02	39.95
2020年3月期第1四半期	28.29	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	10,323	8,152	79.0	1,672.87
2020年3月期	10,314	8,089	78.4	1,659.93

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 8,152百万円 2020年3月期 8,089百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	14,500	△5.5	758	△25.1	763	△25.0	512	△26.3	105.07

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

2. 2021年3月期の連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大やその収束時期による影響を現時点で合理的に算定することが難しい状況であるため、通期の予想のみとしています。よって、新型コロナウイルス感染症の収束が長期化した場合、業績予想を変更する可能性があります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	6,206,496株	2020年3月期	6,206,496株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,333,432株	2020年3月期	1,333,432株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	4,873,064株	2020年3月期1Q	4,873,077株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報)	6
3. その他	7
受注及び販売の実績	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための外出自粛や休業要請等の影響により、急速に悪化しました。また、緊急事態宣言の解除後、経済活動が再開されつつありますが、正常化に向けては、なお時間を要する状況にあります。

情報サービス産業におきましては、競争力強化や将来の成長のために、新しいデジタル技術を活用し、戦略的に新たな付加価値を生み出していく、いわゆる、デジタルトランスフォーメーション(DX)※に取り組む企業が増加していることから、堅調な状況を維持しております。

このような経営環境の下、当社グループは、「中長期経営計画 C<sup>4</sup> 2022」の第3ステップの初年度である当期においては、①既存の受託開発事業(コアビジネス)の拡大、②DX案件の積極的受注、③体質強化への投資継続、④開発人員の増強に取り組みました。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、顧客との対面による営業活動等の自粛を余儀なくされましたが、テレワークやオンライン会議等を活用し事業活動を継続いたしました。

その結果、連結売上高は3,777百万円(対前年同四半期増減率3.0%増)となりました。利益面では、前年度の様な不採算案件も無く、営業利益は288百万円(同40.8%増)、経常利益は290百万円(同41.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は195百万円(同41.4%増)となりました。なお、当社事業におきましては、景気後退時には遅れて影響を受ける傾向があることから、今後、顧客企業の情報化投資の動向を注視する必要があると認識しております。

また、サービス分野別の売上高については、システムの企画/設計・開発フェーズで提供するシステム・ソリューションサービスは、クレジット業界向け案件が拡大した一方、保険業界向け一部案件が収束及びメンテナンスフェーズに移行したことなどにより、1,499百万円(対前年同四半期増減率13.7%減)となりました。また、システムの稼働後に提供するシステム・メンテナンスサービスは、証券及び公共業界向け案件を継続的に受注したことなどにより、2,277百万円(同18.0%増)となりました。

(※) デジタルトランスフォーメーション(DX) : 企業がIoT、AI、ビッグデータ等の先端デジタル技術を活用して、新たな製品・サービス、ビジネスモデルを創出すること。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は10,323百万円と前連結会計年度末(10,314百万円)と比較し9百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が91百万円減少した一方、仕掛品が90百万円、売掛金が11百万円、それぞれ増加したことによるものです。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は2,171百万円と前連結会計年度末(2,225百万円)と比較し54百万円減少しました。これは主に、未払社会保険料など流動負債のその他が268百万円増加した一方、賞与引当金が284百万円、未払法人税等が35百万円、それぞれ減少するなど流動負債合計が57百万円減少したことによるものです。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は8,152百万円と前連結会計年度末(8,089百万円)と比較し63百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益195百万円を計上した一方、剰余金の配当122百万円の支払により利益剰余金が73百万円増加したことによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期連結業績予想につきましては、2020年5月13日に開示いたしました予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,759	5,668
売掛金	2,088	2,100
仕掛品	41	131
その他	57	123
流動資産合計	7,946	8,022
固定資産		
有形固定資産	106	101
無形固定資産	77	72
投資その他の資産		
長期預金	1,100	1,100
その他	1,088	1,031
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	2,186	2,128
固定資産合計	2,369	2,301
資産合計	10,314	10,323
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	640	646
未払法人税等	147	112
賞与引当金	606	322
役員賞与引当金	20	7
その他	491	759
流動負債合計	1,904	1,846
固定負債		
退職給付に係る負債	309	312
その他	13	13
固定負債合計	322	325
負債合計	2,225	2,171
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	689	689
資本剰余金	666	666
利益剰余金	7,576	7,649
自己株式	△883	△883
株主資本合計	8,047	8,120
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	3
退職給付に係る調整累計額	38	29
その他の包括利益累計額合計	42	32
純資産合計	8,089	8,152
負債純資産合計	10,314	10,323

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	3,666	3,777
売上原価	2,957	3,031
売上総利益	709	745
販売費及び一般管理費	504	457
営業利益	205	288
営業外収益		
雑収入	1	2
営業外収益合計	1	2
営業外費用		
雑損失	0	-
営業外費用合計	0	-
経常利益	206	290
税金等調整前四半期純利益	206	290
法人税等	68	95
四半期純利益	138	195
親会社株主に帰属する四半期純利益	138	195

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	138	195
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	△1
退職給付に係る調整額	△5	△10
その他の包括利益合計	△6	△10
四半期包括利益	132	185
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	132	185
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）

当社グループは、バリュー・ソリューションサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

(受注及び販売の実績)

当社グループの事業は、バリュー・ソリューションサービス事業単一であります。サービス分野別の受注及び販売の状況を示すと、次のとおりであります。

①受注実績

(単位：百万円)

サービス分野別	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)			
	受注高	対前年同四半期 増減率 (%)	受注残高	対前年同四半期 増減率 (%)
システム・ソリューションサービス	1,285	△24.6	1,170	△16.5
システム・メンテナンスサービス	1,904	8.4	1,490	26.0
合計	3,188	△7.9	2,660	3.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 受注高は「受注・売上管理規則」に基づき個別契約の締結、注文書もしくはこれらに準じる文書を受領したときをもって計上しております。

②販売実績

(単位：百万円)

サービス分野別	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	対前年同四半期増減率 (%)
システム・ソリューションサービス	1,499	△13.7
システム・メンテナンスサービス	2,277	18.0
合計	3,777	3.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

また、業種別販売実績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

業種別		当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	対前年同四半期増減率 (%)
金融	銀行	458	3.7
	証券	129	△35.1
	保険	1,421	△12.4
	クレジット	705	64.1
金融小計		2,713	0.8
非金融	公共	299	△6.1
	流通	181	12.4
	その他	584	17.8
非金融小計		1,064	9.1
合計		3,777	3.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。